

事業所名

児童発達支援事業所 たけのこ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		保護者の方の思いを大切にし個々の子どもたちの育ちに寄り添います。その中で身体の力や認知面の向上・豊かな言語能力の基盤を支援し、温かい心を育みます。				
支援方針		「若竹の伸びゆくごとく」を施設の支援目標とし、自然豊かな森を遊び場として、個々の子どもたちの成長スピードに寄り添います。その中で身体の力や認知面の向上・豊かな言語力の基盤を支援し、豊かな心を育むように支援します。				
営業時間		8時	15分から	16時	45分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	健康的な生活が送れることを目的とし、心身の状態の把握、生活リズムの安定化、基本的な生活習慣の確立をめざし支援します。具体的な支援として、健康状態の把握に努め健康な心と体の育成と基本的な生活リズムの安定に向け、家庭との連携（面接・連絡帳の活用）を密にします。また、日常生活動作に関わる支援として、食事、着脱、排せつの確立、片付け、手洗い、歯磨きなどの基本的な生活習慣が身につくように支援します。さらに障害特性や身体状況など個々のニーズに合わせて様々な遊びを通して学べる環境設定を行います。				
	運動・感覚	身体の運動機能を高めることによって、姿勢の保持や動作の向上、保有する五感や前庭感覚機能、固有感覚機能などの色々な感覚機能を刺激し発達を促します。具体的には、基礎運動（横転、腹ばい移動、六つ這い・四つ這い移動、膝立ち歩き、手押し車）を固定プログラム化し取り組みます。リトミック、サーキット、揺さぶり遊びなどをリズムに合わせて楽しく身体運動を行います。また、散歩をとおして下半身や体幹の筋力強化を図ります。				
	認知・行動	認知の発達と行動の習得を促し、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得、空間・時間、数等の概念形成の習得を目指し支援します。具体的には認知の発達として、戸外遊びや散歩をとおして動物、植物に関心を持ち自然事象に気づくように促したり、数、量、物（水、砂、鏡など）に関心を持ち、文字や数字、概念形成を促します。行動の習得は、集団活動を行い集団でのルールや行動を学び大人からの声掛けや指示に対応出来るように支援していきます。また、活動において成功体験や失敗体験を積んでいくことで柔軟な心を身につけていけるように支援します。				
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用や言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上及びコミュニケーション手段の選択と活用が身につくように支援します。具体的には、視覚活動（朝の会、各種課題活動）や音楽、人との関わりをとおして適切な言葉づかいや基本的な言葉の認識、自発的な発声や感情の表出に向けて促します。また他の児童との関わりを積極的に持てるよう集団活動（ゲームなど）を行いコミュニケーション能力の向上を図っていきます。				
	人間関係 社会性	身近な人と信頼関係（アタッチメント）を築き安心できる環境のもと社会性や対人関係を身につけ、仲間づくりと集団への参加を目指し支援します。具体的には、職員が介入しながら友達との関わりや共同遊びをとおしてルールや行動を学び他者への認識や楽しさの共有が出来るように促し、適切な人間関係が学べるように支援します。				
家族支援		保護者の子育てに関する悩みなどに関して、事業所での様子などの情報交換を行い、必要に応じて面接、助言・相談を行います。	移行支援		本事業所を通過施設として考え、並行通園児（幼稚園・保育所）の多くを母集団（育ちの場）の充実に向けた取り組みや就学に向けた準備をスムーズに行うように支援します。	
地域支援・地域連携		子どもたちが地域で生活する上で、生きやすい社会を目指し包括的な支援を行います。その為、関係機関（医療機関、市役所、児童相談所等）などとの連携・情報共有、関連会議への参加等を適宜行います。	職員の質の向上		必要に応じて外部研修に参加し、それらの内容を事業所職員に報告する職員研修にて情報を共有し、職員の知識と技術の向上を図ります。また、ケース会議の開催や内部研修（勉強会）を行います。	
主な行事等		利用児の誕生月の誕生会をはじめ季節に沿った行事を企画しています。例えば、プール遊び、夏祭りやクリスマス会など。尚、夏祭りやクリスマス会は親子参加での行事としています。また、同法人内の幼稚園行事（カレーパーティー、芋ほり、餅つき会など）にも参加をしています。				